



若鷹



令和7年度 《6月号》

学校目標:豊かな心を持ち、自ら考えて判断し、実践できるたくましい生徒

豊見城市立長嶺中学校

生徒会スローガン:当たり前のことほど真剣に、みんなが誇れる長嶺中

《発行者》 校長 新崎峰子

令和7年度地区夏季大会

全力プレイ、出し切った・涙

6月1日(日)・7日(土)・8日(日)の3日間、島尻地区夏季総合体育大会が行われました。どの競技も一生懸命プレイしていました。競技には勝敗がつきものですが、負けたチームも勝ちに値するくらい立派でした。選手の皆さん、感動をありがとう。保護者に皆さんも暑い中、送迎、サポートしていただきありがとうございます。

優勝:ソフトボール部



優勝:男子卓球部



優勝:男女テニスシングルス



3位:空手



準優勝:男子バレーボール部



3位:女子卓球部



【県大会出場部】

男子ハンド部

男子バスケット部



応援も頑張った



はるの空～音のない世界を生きてきた



障害があっても、夢や目標を実現するために、あきらめることなく努力することの大切さ、悩み困っている相手に寄り添い、思いやりの心で接することの大切さを学ぶこと

をねらいとし、6月4日(水)3校時に教育後援会を行いました。

講師の春日春樹氏は先天性聴覚障害をもっているが、いろんなことに挑戦しています。日本中をバイクで旅して不要になった補聴器を回収し、タイへ渡り、ろう学校へ寄付したり、沖縄リハビリテーションで福祉を学び、介護福祉士を取得。また、世界各国を旅した後JAXA(宇宙航空研究開発機構)で勤務。現在は、北海道に住み、障害などで悩む人の心をケアする“みみ”のセラピーを開業。取得した資格は27種を数えるそうです。たくさんパワーをもらいました。

生徒会総会



6月6日(金)に生徒会総会がMeet配信で行われました。各種委員会、生徒会執行部に各学級で話し合ったことや質問、意見を述べました。各学級とも熱心に参加し、意見を述べていました。生徒会を軸とした生徒一人一人が自分から進んで取り組む活動を増やしてほしいです。

「学校は先生たちが作るものではなく、生徒と共に作るものだ」と思っています。

学校の活動は誰かがやってくれるものでもなく、誰かが楽しくさせてくれることでもありません。

是非、人任せにせず、生徒会、中央委員、各種委員のリーダーを中心に、みんなが安心して「学校楽しいな」と思えるような活動をしてほしいです。

地区英語スキットコンテスト



6月19日(木)に地区英語スキットコンテストが南風原の黄金ホールで行われました。21校が出場し、それぞれのテーマで発表しました。本校は、「The World of People Connected by Sign Language」のタイトルで3年比嘉杏朱さん、大滝芽衣さん、上原朱那さん、比嘉菜花さん、2年具志堅一心さんが、聴覚障害の転校生をめぐり、互いを認め合う大事さ、思いやりを表現しました。5人とも堂々としていて、英語力、チーム力、表現力とも素晴らしかったです。



6月18日(水)に慰霊の日平和講和が豊見城市教育委員会の稲嶺航氏を招いて行われました。戦争体験者の証言をもとに、対話形式で行

われました。お礼の言葉を述べた3年の徳田楓己さんは、「わたしはこれまでにたくさんの戦争に関する講話を聴いたり、学習してきました。その中で、私は「戦争についてはもう全部知っている、人が死ぬから戦争はしていけない」ととても浅い考えを持っていたことに気づきました。講話を聴いて、私はまだ戦争の全てを知っているわけではないと感じた。これからもっと沖縄戦について調べて、なぜ戦争をしてはいけないのか、自分なりの考えを見つけたい」と述べました。



6月授業参観 ありがとうございます。

子供たちを激励していただき、ありがとうございました。子供たちの表情がいつもより、嬉しそうでした。また、子供たちの頑張り参観してください。